

「つくる」

【意味と文型】カラ格名詞句

「ヒトがモノ(原料)からモノをつくる」

疑問詞:「ダレがナニからナニをつくったのか」

- ・カラ格名詞は一番最初の段階をさす

「大豆からしょうゆをつくる」

「餃子を皮から作ってみよう」

「とりあえずトップページから作ってアップ」

「生地から作ってくれるピザ自動販売機」

「「初回返信メール」を文例集から作ってみましょう」

- ・場合によっては常識外の原材料をさすこともある。

「牛乳パックからつくるエコペーパー雑貨」

「し尿から作るバイオ燃料を市バスに」

「自分の脈からつくる癒し音楽」

「つくる」

【意味と文型】二格名詞句

「ヒトがモノをナニにつくる」

疑問詞:「ダレがナニをナニにつくったのか」

→二格は結果様態

「鯛を刺身につくる」

「菊を懸崖仕立てにつくる」

「ケーキをお子様向きにつくる」

「これは鷗外の戯曲を放送用につくったものです」

(以上、森田良行氏の例を引用)

「つくる」

【意味と文型】二格名詞句

単なる結果は許容されない。様態的な形態(「～用」、「～向き」など)を伴うことが多い

「？大豆をしょうゆにつくる」

「？紙を人形につくる」

「漁師が自分の晩酌**用**に**作る**淡路島産「地タコやわらか一夜干し」産地直送」

「結婚式**用**に**つくる**プロフィールの項目でおもしろかったのは？」

「展示**用**に**つくった**ルーペのはてなブックマーク被リンク数」



「つくる」

【慣用句】

「一からつくる」→最初の段階からつくっていく

例:「**一から**、理想通りの住まいが**作れる**！」

「チキンラーメンを**一から作る**」

「茶畑で**一から烏龍茶を作る**」

「パソコンも**1からつくる**！」

「コンピュータを**一から作る**」



「つくる」

【慣用句】

「ゼロからつくる」→何もない段階から原材料の調達を含めつくる作業にかかる。必ずしも文字通り原材料なしでつくるわけではない。

例:「新曲をゼロから作って何時間でレコーディング完了までいけるか」

「ゼロからつくる家系図」



「つくる」

ヲ格名詞句の分類

建築工事・土木工事などを行って築く
「道路をつくる」「庭園を造る」

栽培する、耕作する
「麦を作る」

書類などを作成する
「書類をつくる」「契約書をつくる」

「つくる」

ヲ格名詞句の分類

団体・部局を創設する

「町に高校をつくる」

文章・文芸作品・音楽作品を創作する

「詩を作る」は言うが「小説を作る」は普通言わない

→「小説を書く」

財産・借財を築く

「本業以外で「ひと財産」つくる方法！」

「素人でもひと財産をつかった円高ドル安の株投資方法です。」

「借金をつくる」(普通は非意図的であるが責任がある)

「浮気したことや借金を作ったことが会社にばれたら解雇されるかも。」